

1975→2026

51

# 非核「神戸方式」決議

# 周年記念のつどい



## 半田 滋さん

(防衛ジャーナリスト・元東京新聞論説兼編集委員)

記念  
講演

### 「敵基地攻撃と日米一体化 —防衛費倍増は国民負担に—

核兵器禁止条約が発効して5年—

神戸港に入港する外国艦艇に非核証明書の提出を義務づける非核「神戸方式」は、核兵器の存否を明らかにしない米艦の入港を50年にわたり拒み続けました。しかし、被爆80年・非核「神戸方式」50年の2025年、神戸市は、非核証明書の提出がないまま、米艦の入港を認めてしまいました。高市政権のもとで、莫大な軍事費を注入して「敵基地攻撃能力」を保有する軍備増強を進め、日米一体の戦争態勢が強化されています。高市政権のもとで、非核三原則の見直し、非核「神戸方式」つぶしの動きが一層強まることが想定されます。核兵器禁止条約の調印・批准国が次々と増えており、世界は核兵器廃絶への流れを強めています。51周年を迎える非核「神戸方式」の重要さも一層大きなものになっています。「敵基地攻撃と日米一体化」の動きをしっかり受けとめ、日本、北東アジアの平和のあり方をご一緒に考えましょう。

## 2026年 3/22【日】

### 13時半開会 (13時開場)

### 【会場】神戸駅前研修センター

(TEL.078-232-0081)

資料代:1,000円

オンラインZoomでも配信します。ご希望の方はEメールアドレスを添えて申し込んでください。Zoomウェビナー参加URL、ID、パスワードを事前に届けます。



TEL.078-232-0081 [高速神戸駅]東出口  
神戸市中央区中町通 2-3-1 徒歩約1分

主催／非核「神戸方式」決議記念集会実行委員会 協賛／非核の政府を求める兵庫の会

(事務局団体) 神戸港湾共闘会議、新日本婦人の会兵庫県本部、兵庫県原水協 (神戸市中央区古湊通 2-2-10) 【TEL】 078-341-2818 【FAX】 078-371-2427 【Eメール】 hikakukobe@yahoo.co.jp

## 核兵器積載艦艇の 神戸港入港拒否に関する決議

神戸港は、その入港船舶数及び取扱い貨物量からみても、世界の代表的な国際商業貿易港である。

利用するものにとっては使いやすい港、働く人にとっては働きやすい港として発展しつつある神戸港は、同時に市民に親しまれる平和な港でなければならない。

この港に核兵器が持ち込まれることがあるとすれば、港湾機能の阻害はもとより、市民の不安と混乱は想像に難くないものがある。

よって神戸市会は核兵器を搭載した艦艇の神戸港入港を一切拒否するものである。

1975年3月18日 神戸市会

## 講師紹介／半田滋（はんだ・しげる）

1955年生まれ。防衛ジャーナリスト、獨協大学非常勤講師、元法政大学兼任講師。元海上保安庁政策アドバイザー。下野新聞社を経て、91年中日新聞入社。元東京新聞論説兼編集委員。92年より防衛庁(省)取材を担当。2007年、東京新聞・中日新聞連載の「新防人考」で第13回平和・協同ジャーナリスト基金賞(大賞)を受賞。2019年よりYouTube番組であるデモクラシータイムスの「半田滋の眼」に出演。「週刊金曜日」に「半田滋の新安全保障論」を連載中。著書に、「バラレル 憲法から離れる安保政策」(地平社)、「台湾侵攻に巻き込まれる日本 安倍政治の『後継者』、岸田首相の敵基地攻撃と防衛費倍増の真実」(あけび書房)、「戦争と平和の船、ナッチャン」(講談社)、「変貌する日本の安全保障」(弓立社)、「安保法制下で進む! 先制攻撃できる自衛隊—新防衛大綱・中期防がもたらすもの」(あけび書房)、「検証 自衛隊・南スーダンPKO—融解するシベリアン・コントロール」(岩波書店)、「零戦パイロットからの遺言—原田要が空から見た戦争」(講談社)、「日本は戦争をするのか—集団的自衛権と自衛隊」(岩波新書)、「僕たちの国の自衛隊に21の質問」(講談社)、「『戦地』派遣 変わる自衛隊」(岩波新書)=09年度日本ジャーナリスト会議(JCJ)賞受賞、「自衛隊VS北朝鮮」(新潮新書)などがある。

## 「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」運動 促進のための「共同アピール」

2024年12月

2017年7月7日、122カ国の賛成で核兵器禁止条約が採択され、被爆75年にあたる2020年10月24日、核兵器禁止条約の発効要件を満たす50カ国の批准書(加入書を含む)が寄託され、2021年1月22日に発効しました。核兵器の使用はもとより、使用すると威嚇(核抑止)・開発・実験・製造・貯蔵・保有・移転・譲渡などが、国際法で全面的に禁止されたのです。

さらに、核被害への救援・環境の回復の推進も明記されました。

ノーベル平和賞を日本被団協が授与されたことに示されるとおり、今や、核保有国を含む世界の市民の多くが、核兵器が非人道的兵器であり、不要なものであることを知るところとなりました。

戦争での核攻撃を受けた唯一の国である日本政府は、核兵器禁止条約に加わり、核兵器の禁止から廃絶へ、今こそ先頭に立って世界をリードするときです。

「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」にご賛同いただき、さらに広げていただきますよう、私たち一同、こころから訴えます。

### 「共同アピール」連名者 (50音順)

石川康宏(神戸女学院大学名誉教授)、上野英一(兵庫県議会ひょうご県民連合議員団幹事長)、魚住和晃(神戸大学名誉教授)、太田和宏(神戸大学教授・灘区原水協会長)、尾崎吉晴(福崎町長)、茅野涼一(宝塚医療生協理事長)、川内工一(西宮市原爆被害者の会会長)、岸本吉弘(明石市原爆被害者の会会長)、清元秀泰(姫路市長)、葛下友和(丹有原爆被害者の会会長)、小泉雄次(伊丹市原爆被害者の会会長)、郷地秀夫(核戦争を防止する兵庫県医師の会代表)、河野太通(元龍門寺住職)、越田謙治郎(川西市長)、小西達也(ろっこう医療生活協同組合理事長)、酒井隆明(丹波篠山市長)、庄本えつこ(日本共産党兵庫県議団団長)、新聞智孝(妙法華院住職)、妹尾河童(舞台美術家)、千田征男(高砂市原爆被害者の会)、高島峻輔(芦屋市長)、高松勇一(尼崎市原爆被害者の会会長)、立川重則(兵庫県被爆者団体協議会理事長)、田中嘉治(日本のうたごえ全国協議会会長)、田村克也(三田市長)、千葉孝子(芦屋市原爆被害者の会)、富田宏治(原水爆禁止世界大会起草委員長)、中村典子(兵庫県被爆二世の会会長)、西山裕康(兵庫県保険医協会理事長)、日本基督教団兵庫教区社会部、林 時彦(丹波市長)、藤原精吾(ノーマヒバアクシヤ訴訟全国弁護団長)、朴木佳緒留(神戸大学名誉教授)、牟禮正稔(赤穂市長)、森臨太郎(宝塚市長)、安井三吉(神戸大学名誉教授)、和田進(神戸大学名誉教授)(2025年12月1日現在)  
(「共同アピール」連絡先/核戦争を防止する兵庫県医師の会、兵庫県原爆被害者団体協議会、原水爆禁止兵庫県協議会)

内閣総理大臣 様

## 日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める署名

いま世界では、核兵器禁止条約の発効から核兵器廃絶へとすすもう、という声広がっています。多くの国ぐにが被爆者の声に耳を傾け、「核兵器による安全」ではなく、「核兵器のない世界による安全」を選択し、核兵器禁止条約を支持し、参加しつつあります。

唯一の戦争被爆国である日本政府は、核兵器廃絶の先頭に立たなければなりません。国内の世論調査でも、日本が核兵器禁止条約に参加すべきとの声は7割を超えています。日本政府がこの被爆者と国民の声に誠実に応えることを訴えます。

私は日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求めます。

名 前	住 所	募 金

<この署名は、日本政府に提出します> \*この署名は、これ以外の目的では使用しません。

【取扱い団体】原水爆禁止兵庫県協議会:神戸市中央区古湊通2丁目2-10

## 非核「神戸方式」決議51周年記念のつどい参加申込書

	○印	お名前	電話番号	メールアドレス
会場参加				
ZOOM参加				

### ■参加申込送信先

\* FAX:078-371-2427 \* メール:hikakukobe@yahoo.co.jp

連絡先/兵庫県原水協(神戸市中央区古湊通2丁目2-10)



参加申し込みQR